

第4回江田島市公共交通協議会 (H23.1.31)

協議会議事録				
会議名	平成22年度 第4回江田島市公共交通協議会			
日時	平成23年1月31日(月) 14:30~16:25			
出席者	県立広島大学	名誉教授	のほら けんいち 野原 建一	○
	広島商船高等専門学校	教授	おかやま まさと 岡山 正人	○
	江田島バス株式会社	代表取締役社長	はすだ つとむ 蓮田 勉	○
	江田島バス株式会社	従業員代表	しろいし ひろし 白石 公士	○
	広島県旅客船協会	会長	にった いちろう 仁田 一郎	○
	株式会社ファーストビーチ	船員代表	たにくち みのる 谷口 実	○
	広島県タクシー協会	江能支部支部長	いまみや こうじ 今宮 浩二	○
	江田島市自治会連合会	会長	おがた けんそう 小方 憲三	○
	江田島市老人クラブ連合会	会長	いのこ よしお 猪子 嘉生	○
	江田島市社会福祉協議会	会長	おおつ かつひこ 大津 克彦	○
	江田島市女性会連合会	会長	くまくら まちこ 熊倉 町子	○
	江田島市観光協会	会長	なかしま まさる 中島 勝	○
	中国運輸局海事振興部旅客課	課長	おおしま ほるゆき 大島 治之	○
	中国運輸局広島運輸支局	首席運輸企画専門官	やざわ しょうじ 八澤 昭二	○
	広島県企画振興局地域振興部地域政策課	課長	やたがい ひでゆき 八谷 秀幸	代理出席 とくとみ あやこ 徳富 綾子
	江田島警察署	地域交通課長	しげむね ひろあき 重宗 博明	○
	市議会交通問題調査特別委員会	委員長	とち やすのり 登地 靖徳	○
	市議会産業建設常任委員会	委員長	えびす まさのぶ 胡子 雅信	○
	江田島市	副市長	しょうい よしあき 正井 嘉明	○
	江田島市	総務部長	どて さんせい 土手 三生	○
江田島市	土木建築部長	こうの きよし 幸野 潔	○	

1 開 会	
事務局	開会宣言
2 会長あいさつ	
会 長	あいさつ
3 議長の選任について	
事務局	野原委員を議長に選任
4 報 告	
事務局	<p>資料に入る前に、資料でない部分で報告がある。前回の協議会で、海上分科会で協議するとしていた「競合航路への運賃補助」について、12月3日に海上分科会を開催して協議した。市議会についても12月定例会で報告している。</p> <p>12月定例会での市長の言葉を引用すると「12月3日に開催した海上分科会で再確認し、競合航路については実証運航を行う中で影響が生じた場合には、その対策について十分協議を行うということで御理解をいただいている。」と申し上げている。このように整理したので、協議会においても報告する。</p>
平成22年度事業計画の進捗状況について	
事務局	<p>－資料1, 4, 5により説明－</p> <p>路線検索システムについては、12月17日からホームページを公開している。</p> <p>サイクリングマップは初版1万部を作成し、12月中旬より配布している。市内公共施設、近郊の自治体、港ターミナル、フェリー客室内等に配付したほか、サイクリストの方々の御協力により近郊の自転車屋さんにも配付している。</p>
議 長	確認したいことなど、質問はあるか。
	(質問なし)
・ 西能美航路の合理化・効率化 (中間報告)	
事務局	<p>－資料2により説明－</p> <p>航路利用実績について、乗船者数は昨年からは減っているが、実証運航前後ではさほど変わっていない。車両台数は10月に関してはそのまま移行しているが、その後は減少している。</p> <p>1月18日に芸備商船・企業局と意見交換したが、現在の形で運航したい、燃料単価が上がっているのでフェリー再開は現実的に難しいという意見があった。</p>
議 長	このことについて、何か意見はあるか。

委員	<p>23 ページの表を見ると、大変良い結果が出ているのではないかとということがうかがえる。2 ページから 5 ページは 2 年間の比較だが、3 年間の比較があれば自然減なのか実証運航による結果なのかがよく分かる。すぐには結果が出ないとは思いますが、その結果収支がどうなったかというものがあればありがたい。</p>
事務局	<p>3 年分の比較という話については、データが手元にないので、事業者を確認してみる。収支は現在計算中であり、最終的に事業収支として、想定したものと比べてどうだったかということを出していく。</p>
委員	<p>出来れば平成 20 年度の数字、あるいは平成 21 年度の呉広島道路の無料化前の時点で、過去からの流れ、漸減していると思うのだが、その辺の傾向値と今回の実験でどのように移ったのかが分かるように、表の取り方を工夫してもらえると良いのではないかと。</p> <p>言葉で書いてあるアンケート (P.24) で「～について」という表現しかない。良いという意味なのか悪いという意味なのかが分かりにくい。その辺もうまくまとめてもらえれば。</p>
事務局	<p>過去のデータについては出来るだけ出していきたいと思う。傾向値と比較して分かる状況かどうかは分からないが、工夫してみたい。</p> <p>アンケートについて、自由記述のところだが、もう少し表現を分かるように書きたい。生のデータは事業者に渡している。</p>
委員	<p>アンケートの狙いはよく分かるし、データに基づいて結論を出すというのは大賛成だが、アンケート調査というものは非常に情報量が少なく、パーセントは非常に注意を要する。10 人か 20 人かくらいに質問があって回答が 100%とかいうのがあって、非常に心配している。</p> <p>協議会の結論として、アンケート結果をあまり都合よく解釈しない方が安全ではないかと思う。</p>
議長	<p>深読みしないということかも知れないが、十分注意していきたい。</p>
委員	<p>先行きは暗い状況。特に 2 月中に 4 月以降の方針を決定するということまでできているのだが、中間報告を見ても、海上分科会でも、だいたいの方向性、基本的なところは見えている。問題点も、地元の説明会等で意見を聞き市も理解している。</p> <p>2 月末までで 4 月以降のことを決めるのならば、基本的な話に入らないと日にちもないし、協議会が集まる機会もない。市の基本的なところまで、分かれば披露してもらいたい。</p>
事務局	<p>本日の意見を踏まえてと思っていたが、運航している事業者と意見交換した際には、フェリーの復活は難しいということであり、元に戻す選択肢はないと考えている。4 月以降どういう形であるかということについて、芸備商船は「現在の 16 便、これを増やすことも難しい。現状が良い。」ということであり、企業局は「フェリーを抱えており自由</p>

	<p>が利かない。このままの形で移行するのが良い」ということであつたので、それを踏まえた形でいきたい。</p>
委員	<p>元々西能美島の航路再編は、目的は「合理化・効率化」がポイントであつた。各航路の収益改善もポイントであつたと思うが、今回出るとかと思つた数字が27ページにおいて計算中であるとのこと。普通の会社であれば1か月単位での決算数値は出ているもの。2月末には何らかの方向性を決めなければならないのであれば、客観的な数字がなければみなさん判断しにくいのではないかと。もちろん1月18日の海上分科会において、フェリーは厳しい、燃料高騰で増便も難しいという話が出たということを知っているが、その客観的な数字がないと、市民のみなさんへの説明が出来ないのではないかと。</p> <p>事務局にお願いしたいのは、単月決算数値で良いから、それで前年度・前々年度比較をして結論付けるのが良いと考える。</p>
事務局	<p>数字自体はあくまでも航路事業者と相談し、出せるものは出していただくようお願いしたい。</p>
議長	<p>次の協議会には数字が出せるように努力していただきたい。</p>
委員	<p>わたしが興味を持っていたのは高速船の方なのだが、フェリーがなくなってその経費の減と、船がまだ残っているが、ないとしたときの経費の問題と、料金を下げたことで、フェリーの料金と高速船の料金と高速船の値下げとで、どういう数字が出たか興味を持っている。</p>
オブザーバー	<p>橋の話が出ていないが、早瀬大橋における呉広島道路の無料化後の交通量調査の実績が、1年前の同月比で良いので、どれくらい数字が変わったかというのを、参考に欲しいと思うのだが、出来たらお願いしたい。</p>
事務局	<p>数字自体は各航路事業者と聞いてからでないと出せない。無料化に関しては、利用の状況以外に交通量の数字も出していきたい。ただ、今回この協議会で調査したのは、クリアライン無料化後の調査であり、その前の調査は県が行っている数字があると聞いているが、それがもらえていない状況。これをもらえるように、何度も言っているところである。</p>
議長	<p>これをもらえるよう、県にも要請してもらいたい。</p> <p>地域住民の意見もお聴きしたいが、地域の方ではこの件について何か意見がないか。</p>
委員	<p>今のところまだ実証運航中であり、その結果が出て数字を見て判断させてもらいたい。三高の利用者から聞くと、便数が全く増えていないという不満をよく耳にする。そういう数字が出た段階で、4月からのどのような海上交通の再編になるか、また検討してもらいたい。</p>
議長	<p>また後で御意見を伺うので、よろしくお願いしたい。</p>

<p>委員</p>	<p>実証運航中の満足度について、当然高速船の利用者のみであるが、評価が高くてビックリしている。しかしこれには数字のマジックがあるのかなと思っている。</p> <p>もともと高速船の利用者が多く、なおかつフェリーから変わってきた人の比率が2割くらい。高速船のサービス水準というのは、料金・便数とも上がっているの、高速船を評価するに当たって満足度が上がっているのは当然。変わってきた人がどのように考えているかということ、少し見られた方がいいかなと思う。基本的に最大多数の最大幸福で一般的な評価が高くなっているのは良いことだが、今後のことを考えると、変わってきた人の中でどういったものに不満が多いのかということを知ることが、新しい対策を考えていくうえで非常に大事なことだと思う。変更された方の満足度がどう変化しているのかということに注目する必要がある。ただ、そのことばかりにあまり気を取られると、全体的な交通システムの中での評価において、あとあと大変なことになりかねないので、気を付けてもらいたい。</p> <p>先ほど、それでもレーダーチャートでゼロより小さい値が多いということであったが、通常交通関係でアンケートを取ると、不満の方が圧倒的に多くなる。無視しろというわけではないが、あまりゼロ以下のことを言い始めると実際にペイしなくなる。その結果長く維持していけなくなる。そういった意味ではサービス水準についてはいろんなトレードオフを考えなくてはならない。</p> <p>必ず不満があるということには何かしらちゃんとした理由があり、それは大切なことだが、「料金が安い方がいいでしょ」と聞けば絶対「安い方がいい」とみなさん答える。料金が安くて便数増やせばみんな満足というのは当たり前。あまりそういう聞き方でゼロより小さいことを言う必要はないかと思う。</p>
<p>・ 交通空白不便地域への移動手手段確保（中間報告）</p>	
<p>事務局</p>	<p>－資料3により説明－</p> <p>利用者数1日当たり16人（収支率20%）を目標に実証運行を開始したが、いずれも目標に届いていない。特に利用者数が少ない沖美南部地区は、他の路線と違い、バス路線と並行する形でダイヤのない時間帯に走っており、バスと取り合いになっているのかなという状況。</p>
<p>議長</p>	<p>このことについて、何か意見はあるか。</p>
<p>委員</p>	<p>沖美南部地区の利用者から意見を聞いているので報告したい。</p> <p>まず電話予約だが、おれんじ号は車に乗らない方が利用されるのであるが、行きは予約できるけれども、帰りは予約を入れていてもそれに遅れた場合、お年寄りの方は携帯電話を持っていないこともあり、断りの電話を入れることが出来ず、公衆電話もない。そのため予約す</p>

	<p>るのをやめる，利用しなくなる。</p> <p>是長は坂が多く，バス停に出るのが大変。また，買い物とき，行きは乗っても帰りはバス停から坂を登るのが大変。行きは予約してバス停で乗っても，帰りは降りたいところで降ろしていただきたい。</p> <p>アンケートでもあったが，バスの乗継が悪い。1時間ほど待つこともある。屋根やベンチがあれば座ってでも待つがそれもない。だから利用しない。</p> <p>是長だと近くの医院や郵便局，友達のところへ行きたいときでも利用できない。料金は満足ということがあったが，乗らない方の意見を聞くと，料金は高い。一律300円で，遠くまで乗る場合は安いと感じるかもしれないが，近くに行くときには高いという声を聴いている。</p>
議長	<p>アンケートに漏れている年配の方の意見が聞こえてくるようであったが，これについては運行している事業者に聞いた方が良いか。</p>
事業者	<p>最初の時点でこういうやり方でやって果たしてどうかということがあったが，3月までの試験運行をやって改善してみようということであった。ひとつは地理的な問題，坂が多いのだが，これをどうクリアしていくか，また料金の面は，沖から三高に行けば300円は安いと思うが，是長から大王までということになると，これは高いと思う。</p> <p>地域の病院に行かれる方の意見をいろいろ聴いて，病院と事業者とで話し合ってみたらいいと思う。</p> <p>沖美南部線は能美を通して三高に行くのだが，能美の方は乗れないのかという意見もある。こちらからどんどんPRして実績を上げようと思ったが，まずはありのままに出した。今後は事務局やバス事業者と相談してやっていきたいと思う。</p>
事務局	<p>おれんじ号は走る道が決まっており，その中で，例えば沖美南部線の場合，沖美町で乗り降りする場所は，その道沿いであればどこでも良いということになっている。道沿いであればどこでも降りられるが，家までということになると，車両が幅広であり狭い坂道は安全運転上難しいかなということがあり，道だけは決めさせていただいている。</p>
委員	<p>それは利用される方は御存じなのか。</p>
事務局	<p>住民説明会等でお話しさせていただいてはいるが，説明が足りないかもしれない。周知を徹底させてもらう。</p>
5 協議	
地域公共交通活性化・再生総合事業に関する事後評価(案)について	
事務局	<p>—資料6により説明—</p>
議長	<p>この協議事項について，何か意見はあるか。</p>
	<p>(意見なし)</p>

6 その他	
議 長	<p>先ほど、地域のことで何か要望があればということであったが、意見があるようなのでお願いしたい。</p>
委 員	<p>自治会からの要望を申し上げる。4町の自治会分科会をこれまで3回実施し検討している。影響があるのは西能美航路について。実証運航がingの状態であり数字が確定していないので判断に苦しむところであるが、サービスの満足度のレーダーチャートを拝見し、それぞれの利用者の要望であるので、事業者の方々にも認識いただき、限りなくレーダーチャートが広がるような状況で検討していただきたい。</p> <p>特に三高航路の運賃については、このグラフで凹んでいる。回数券は現在11枚で10枚の値段で売られているが、中町船と同じく6枚綴りで売る努力を事業者をお願いしたい。出来るだけ運賃の軽減を求めてもらいたい。また運行回数も、高田棧橋からのフェリーを6便移行しているが、三高航路については便数が全く増えておらず、そのままの状態で運航している。三高の方々にとっては、夜間便も出来て便数が増えるのではないかと非常に大きな期待をされていた。それが不満となって我々の耳に届いている。</p> <p>厳しいことは十分理解できるが、事業者においても利用者の要望について御努力・御配慮いただきたい。</p>
議 長	<p>次回の協議会にそういった声も含めて、事務局に取り上げてもらえらばと思う。その他のところで何か意見があるか。</p>
委 員	<p>非常に先行きの暗い、寂しい話ばかりで元気を出さなければいけないなど思っている。</p> <p>みなさんも御存じのとおり、国も県も借金を抱え、金がない。精神論で申し訳ないが、今こそ我々が元気を出さなければどうにもならない。このままでは島が沈没してしまう。でもここに生きている我々は、何としてもここで生き抜いていかなければならないし、子や孫にも繋げなければならぬ。島というハンデを何としても跳ね返し、むしろ魅力的な島にしなければならない。</p> <p>宇品港が江田島の玄関口であるが、まず切符を売る人が無愛想であると、江田島市がダメージを受ける。第一印象を悪くして船に乗ると、いくら船員がサービスしてもダメ。まず切符を売るところから始めてもらいたい。</p> <p>次に船員さんも、明るくて親切でもてなしの心を常に心がけて、自分たちの職場でもあるし生活の糧を得る大事な場所でもあるので、もう少し性根を入れて本気でシーマンとして、あるいは自分たちのまちにお客様をお招きするんだという気持ちを持ってもらいたい。船を立派にして綺麗に磨き、お客様を大切に。お客様が江田島に来てよ</p>

	<p>かった、あの船にまた乗りたい、船旅はいいなというのは、別にお金がかかることではない。船員や会社はその気になってやれば、きっと元気が出る。</p> <p>上陸して今度はバスに乗ったとき、運転手が明るい良い対応であったということであれば良いが、人間を荷物としか思っていないような、印象の悪い運転手がいると、お客様はがっかりする。</p> <p>行く道中、玄関口でやられ、船でやられ、バスでやられ、お客様はメタメタになっている。その後観光施設などに行くことになるが、そこでいくら良いおもてなしをして、良い料理を出しても、第一印象が悪いと全てがうまくいかない。何の仕事でも一緒だが、最後は人であり、人を教育してその人がモチベーションを高めて、本気で自分の一生涯の仕事だと、給料をもらっているわけですからね、その中で一人一人がもっとブラッシュアップしていけば、この島は決して暗くはならないと思う。</p> <p>ときどき東京からお見えになった人が、なんて良いところだろうと、この自然を本当に評価される。ここに住んでいる我々が気づかないだけで、そんな樂園に住んでいる我々が暗くなっているのはどうしようもない。やはり自分たちのやることを、自分たちの持ち場で一生懸命やる、そういう気持ちでもって仕事にあたっていただきたい。どうぞ交通機関のみなさまも、ともにお客様のおもてなしの心を持って、進めていただきたい。</p>
議長	<p>江田島市公共交通協議会の心ということであるが、切符の売り場から船員、バスの運転手、タクシーの運転手と、そういった乗物に携わる人の心が非常大切ということで、今後は人材育成という面でも大切になっていくのではないかと。江田島市を挙げて人をおもてなしすることを心掛けて、次回の協議会でも発言していただきたい。</p>
事務局	<p>次回協議会日程について、2月21日(月)、場所は農村環境改善センターで時間を午後2時半から予定している。また通知させていただく。</p>
議長	<p>今日と違う場所ということをお願いしたい。</p>
委員	<p>協議会は2月で終わりか、それとも3月にもう1回ありそうか。</p>
事務局	<p>2月は今回整理しなければならないことを中心にやる予定だが、最終的に手続的に必要なものがあれば、3月にもやる事が出てくると思う。</p>
委員	<p>この結果を踏まえてのこととか、予算とか、やらなければならないことが多いので、もし3月にやるようなら、期末なので、早めのスケジュール立てをお願いしたい。</p>
7 閉会	